『私の生活技術』の跋

岸田國士

青空文庫

現代の日本人は正しい「生活観」をもつてゐないといふことが、いろいろの場合に証明できるのであるが、それと同時に、広い意味における「生活の技術」を何時の間にか失つて、非常にギゴチない、国民としてはある意味で可なり損な「生活のし方」をしてゐる事実を誰も否定できないと思ふ。多くの人はその原因がどこにあるかも気がつかずに、たゞ、世間とはかういふものだとして、めいめい別に新しい「生き方」を考へようとしないのである。

私は、かういふ時代に、欧米人の「生活」そのものを謳歌する気にはなれないが、彼等は彼等なりに、はつきりした生活観と、自然に磨かれた一種の生活技術とを身につけ、それによつて、仕事の能率をあげ、健康を保ち、社交を楽しみ、かつ、民族的優越感を満足させてゐる点に思ひいたれば、われわれ日本人が何故に、今日、「生活」といふ問題を更めて検討してみなければならぬ羽目に陥つたかはおのづからわかる筈である。

われわれの祖先は、それぞれの時代を通じて、日本人としての立派な生活精神を基礎とする円熟した生活技術をもつてゐたのである。

時局下における国民生活の樹て直しが、わが伝統の再認識と新しい世界観の把握とを基礎としなければならぬことは勿論であるが、これを具体的に押し進めて行く目標は、是非とも、日本人の生活力の強化におくべきであつて、精神的にも物質的にも、その実践は、高度の技術を発見し、獲得し、これを習性とすることを不可欠の要件とするのである。それはさうと、われ

われは、まだ、「生活」の内容についての研究も足りないし、「生活」といふ問題の取扱ひ方にも十分慣れてゐるとは云へない。少くとも、「生活」なる言葉の使ひ方さへ、日本人同士の間で往々喰ひ違ふやうな実情である。

今度内藤濯さんの訳された、モオロアの『私の生活の技術』は、さういふわれわれにとつて、非常に面白い参考になるといふわけは、人間研究において、独特な域に達してゐるフランス文学者の、いくぶん巧緻にすぎるきらひはあるが、なかなか鋭い「生活」なるものの見方が、今日お互の気づかない点を指摘してゐはしないかと思はれるからである。

「考へる技術」とか、「愛する技術」とか、「年をとる技術」とか、いかにもフランス人らしい好みの題目が掲げられてゐる。日本人なら、技術とは云はず、秘訣とか心得とかいふところであらう。或は、「道」といふかも知れない。従つて、そこには、「たしなみ」とも通じるものがあり、それはそれとして文化的な価値標準を基礎としたものであり、倫理的、科学的並に審美的なセンスが働いてゐることは見逃せない。

フランス人モオロアの思想は、日本人からみれば、一方あまりに超国境的で、例へば、その「生活観」の如きも、いはゆる個人主義的な立場を脱してゐないと云へるけれども、さういふことはこの書物を読みながら誰にでも感じられることであつて、今のわれわれにとつては、それさへも心して読めば一つの貴重な教訓を含んでゐると考へられる。

私は、日本国民の一人一人が「生活」といふものをもつと広く、そしてもつと深く考へてい

かなければ、ほんたうの「文化」の建設は困難だと思つてゐる矢先であるし、かういふ書物の紹介も、たしかに大きな意義があると思ふ。特に、あらゆる方面に於ける指導的人物に、この書物の一読を薦めたい。なぜなら、どんなに機微な問題でも、事、日本人全体の名誉と幸不幸に関する限り、それに無関心でゐるといふことは今や許されないからである。

——二千六百一年冬——

青空文庫情報

底本：「岸田國士全集25」岩波書店
　1991（平成3）年8月8日発行
底本の親本：「私の生活技術」白水社
　1941（昭和16）年12月27日
初出：「私の生活技術」白水社
　1941（昭和16）年12月27日
入力：tatsuki
校正：門田裕志
2010年3月1日作成
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（http://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

『私の生活技術』の跋

岸田國士

2026年10月1日　第二版

奥　付

発行　　青空文庫

URL　　http://www.aozora.gr.jp/
E-Mail　　info@aozora.gr.jp

作成　　青空ヘルパー　　赤鬼@BFSU
URL　　https://aohelp.club/
BiliBili　　https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks
　青空文庫　威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
http://tokimi.sylphid.jp/